

第11回 歴史地震史料研究会

2023年11月18日(土) 12:25~18:00 オンライン開催

◆研究発表会プログラム◆

12:30~13:50 口頭発表

- 齋藤瑞穂・鈴木正博 縄文三陸地震津波研究(6)
—縄文時代最後の地震・津波は弥生化をどのくらい妨げたか?—
- 小野映介 平安京左京南部における地形環境変遷と地盤環境
- 濱野未来 地震勘文にみる中世日本の地震解釈
- 片桐昭彦 明応4年8月15日の「洪水」は地震津波か

14:00~15:20 口頭発表

- 水野 嶺 慶長九年地震津波に関する新出史料の紹介
- 松岡祐也 『当代記』の地震記述の出典および信頼性
- 西山昭仁・石辺岳男・片桐昭彦 1666年寛文越後高田地震の被害状況の検討
- 浅倉有子 寛延4年(宝暦元年、1751)高田地震関係史料の紹介

15:30~16:30 口頭発表

- 原 直史 文政11(1828)年複合災害の様相について
—豪雨・飢饉・台風・地震—
- 矢田俊文 八戸藩における1843年・1858年の地震による津波被害
- 谷口 央 安政南海地震における三重県下の状況

16:40~18:00 口頭発表

- 村岸 純 1855年安政江戸地震に関する千葉県南西部の史料
- 原田和彦 安政江戸地震と松代藩の対応
- 佐藤大介・川内淳史 関東大震災と仙台市・宮城県—地域資料に見る
- 中村 元 1920・30年代地方測候所の地震調査について
—新潟測候所の事例に即して

本年度は事前申込制によるZoom(ウェブ会議システム)を用いたオンライン方式で行います。

参加申込のメ切は11月14日(火)。参加を希望される方は氏名・メールアドレス・所属・住所をご記入の
うえ katagiri@human.niigata-u.ac.jp までお申し込みください。

問い合わせ先 片桐昭彦(新潟大学人文学部, 災害・復興科学研究所兼任)

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学人文学部

電話 025-262-6542 E-mail: katagiri@human.niigata-u.ac.jp